

令和7年度

由岐中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ①授業力を高める
(主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善)
- ②家庭学習を充実させる

校長

岩佐 宣之

学力向上推進員

教諭:坂部美枝
校長:岩佐宣之 教頭:齋藤隆雄
教諭:田内茂美・浅田浩輝・大瀧達也

【各校の取組状況の把握について】

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

管理職または教員相互の授業参観、職員会や研修等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学年によって差違はあるが、課題等に真面目に取り組む、基礎的な知識は身に付いてきている生徒が多い。 ●長い文章を正確に読み取ることに課題がある。テスト等では、記述問題が空欄になる生徒も多い。	・毎時間の授業に取り組む姿勢を大切にし、基礎的な学習内容を確実に身に付けることができる。 ・各々の学習場面で身に付けた知識や技能を、他の学習や生活場面において活用することができる。	・朝自習や家庭学習で、漢字・計算・英単語・用語等の基礎・基本が定着するよう課題の出し方や内容を工夫する。 ・相互に授業を参観し、他学年・他教科の授業実践から、学習形態・発問・板書・ICT活用方法等の授業技術を学ぶ。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○ほとんどの生徒が話し合い活動で積極的に発言し、友達の意見に耳を傾けることができる。 ●自分の考えは発表できるが、分かりやすくまとめたり、説明したりすることが苦手である。また他の人の意見をふまえて話し合いを深めていくことは不十分である。	・各授業での課題に積極的に取り組み、グループ等で協力して課題を解決することができる。 ・自分の意見を適切にまとめて人に伝えたり、適切な言葉を使い文章に書き表したりすることができる。	・話し合い活動や意見を発表する場、考えさせる場を多く設定する。 ・朝自習等で読書時間を設けることで、語彙を増やし、文章の書き方や内容を要約する等の力を付けさせる。 ・生徒の発言や発表の内容に応じて、再発問したり根拠や理由を問うたりすることにより、生徒の考えを深めさせる。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○多くの生徒は、授業に真面目に取り組んでいる。また宿題や課題は必ず提出しなければいけないという意識をもっており、提出率も高い。 ●与えられた課題には真面目に取り組むが、それ以上のことや弱点の克服のために自主的に取り組む生徒は少ない。	・わからないところをそのままにせず、積極的に質問することができる。 ・各教科の学習に主体的に取り組むとともに、得意な教科の力をさらに伸ばし、苦手な教科を克服することができる。	・生徒が見通しをもって学習に取り組むことができるよう、授業のめあてを視覚的にも明確に示し、授業の振り返りする。 ・家庭学習の方法がわからない生徒への手立てとして「学習の手引き」を作成し、家庭学習の充実に導く。 ・自主学習ノートの点検方法も工夫する。			